

# AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2020年第3四半期）

## グラフの読み方

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質 GDPの伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDPを実質 GDPで除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDPの価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の関係を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 自国通貨と米ドルとの交換レート（ドル／自国通貨）。指数の上昇は自国通貨高、下落は自国通貨安を示す。自国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL : 093-583-6202 / URL : <http://www.agi.or.jp>

## 日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

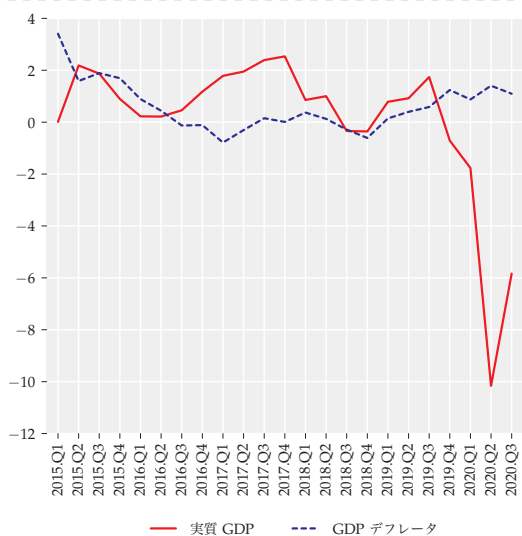


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

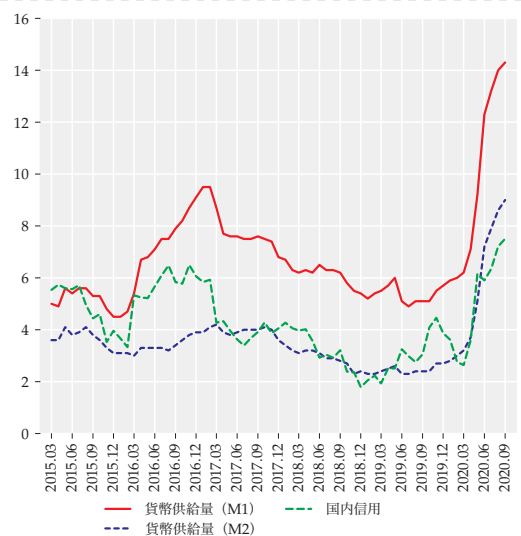


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

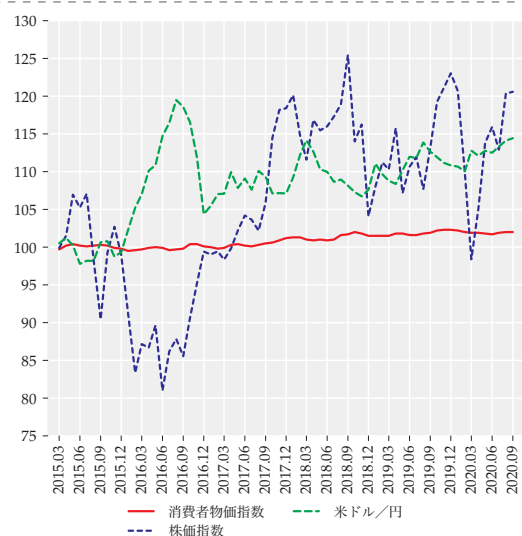
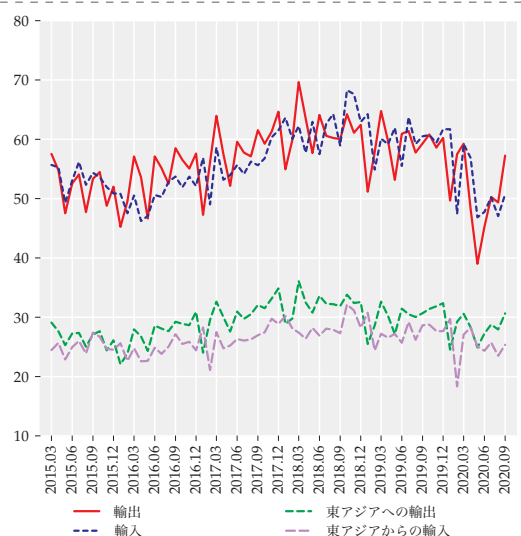


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 日本経済の動向 (2020年第3四半期)

2020年第3四半期の実質 GDP の伸び率は -5.83 % となり (前年同期比, 速報値), 前期の -10.16 % からやや改善した。新型コロナウイルス感染の拡大ペースが一旦弱まり, 民間消費や輸出などに回復傾向が見られる。第3四半期の民間最終消費支出は -7.19 % となり前期 (-10.74 %) からやや回復したが, 民間住宅は -14.02 % と前期 (-5.52 %) よりも大きく減速した。また民間企業設備も -10.53 % と前期 (-7.26 %) よりも減速している。財貨・サービス輸出は -15.73 % となり前期 (-22.09 %) より改善している (いずれも前年同期比)。寄与度から見て, 民間需要の下落が GDP 下落の主因である。そのような中, 旅行や外食の費用を一部補助する Go To キャンペーンが開始され, 国内旅行や飲食の需要が喚起されたが, 足元では, 新型コロナウイルス感染者が再び増加し始めている。感染拡大防止と社会経済活動の両立という困難な課題に対して, 政府は引き続き難しい舵取りを強いられている。(田村一軌)

## 中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

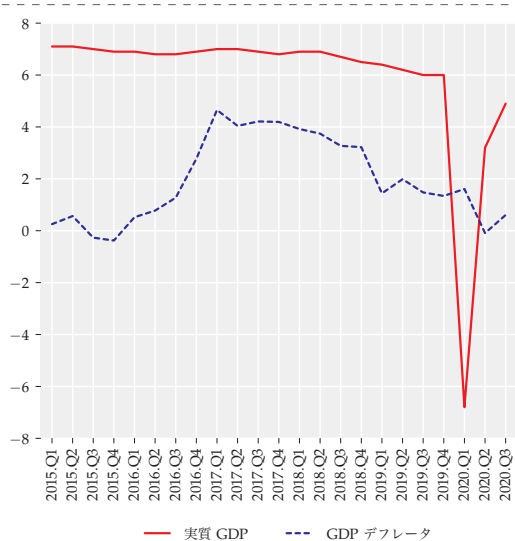


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

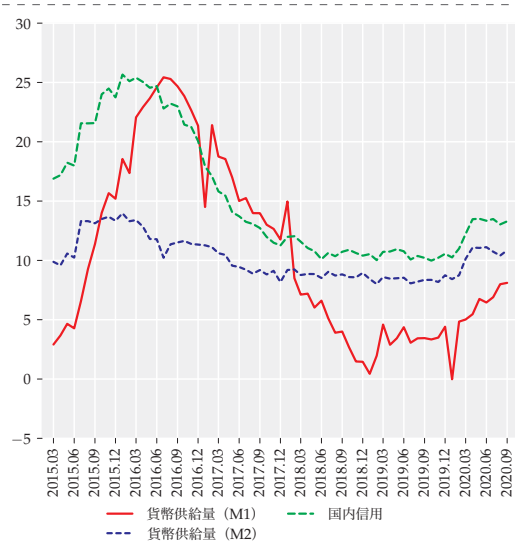


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

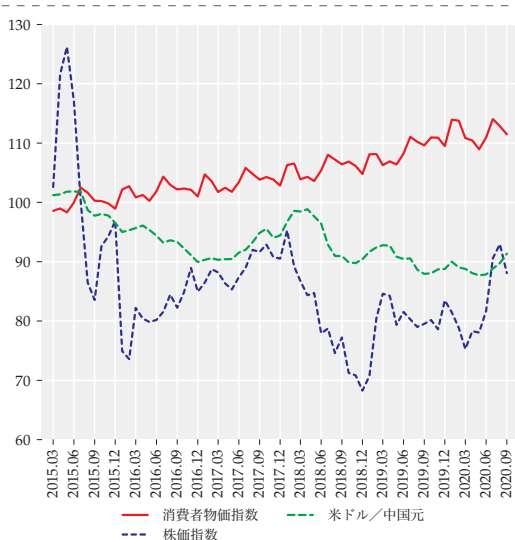
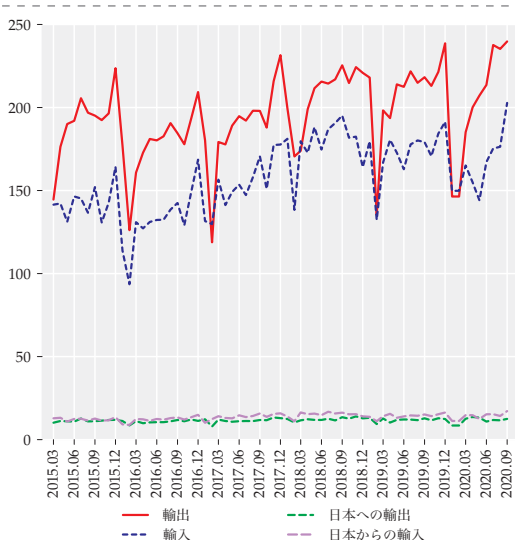


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 中国経済の動向 (2020年第3四半期)

中国では、3月中旬に新型コロナの感染拡大が止められ、その後投資と生産が徐々に回復した。国家統計局の発表によると、第3四半期の実質 GDP は前年同期比で 4.9 % 増加した。第1四半期の同マイナス 6.8 % と第2四半期の同 3.2 % からの変化の過程を見ると、中国の経済成長はほぼ V 字型で回復した。第3四半期の実質 GDP 成長率を生産面の構成別でみると、第一次産業は 3.9 %、第二次産業は 6.0 %、第三次産業は 4.3 % になっている。一方、同 GDP 成長率に対する支出面の構成別の貢献率でみると、国内最終消費は 34.9 %、資本形成は 52.0 %、純輸出は 13.1 % になっている。世界経済における中国のプレゼンスが増大しているなか、11月15日に、中・日・韓・豪・新、東南アジア諸国連合 (ASEAN) など 15 カ国は、地域的な包括的経済連携 (RCEP) 協定に合意、署名した。これによって、世界人口・GDP の 3 分の 1 近くを占める世界最大規模の自由貿易圏が誕生した。

(孫 暁男, 戴 二彪)

## 香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

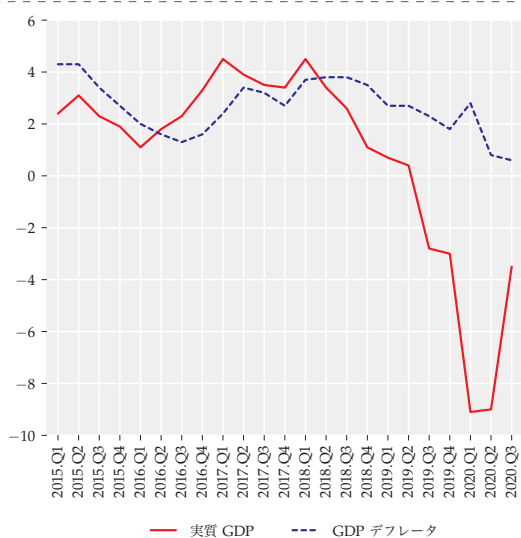


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

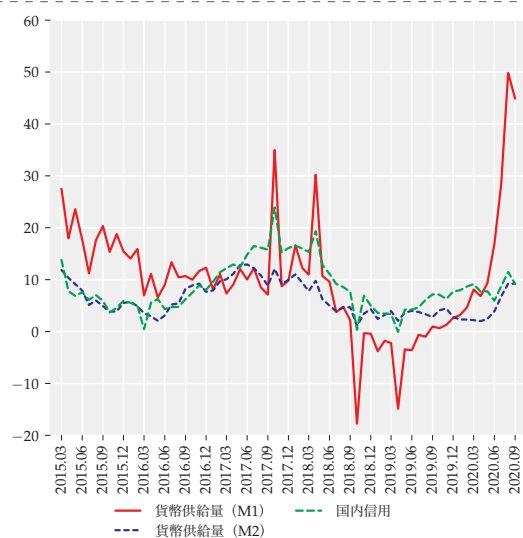


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

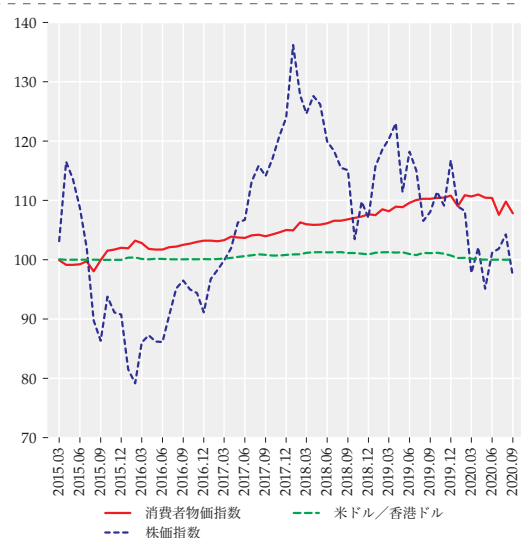


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 香港経済の動向 (2020年第3四半期)

香港政府の発表によると、2020年第3四半期の対前年同期比実質 GDP 成長率は -3.5 %であった。第1四半期の同 -9.1 %および第2四半期の同 -9.0 %と比べ、かなり改善された。世界主要市場の経済回復と中国の対外輸出の拡大につれて、第3四半期の香港商品総輸出(地場輸出と中継輸出の合計)は対前年同期比 3.9 %増となり、第1四半期の 9.9 %減と第2四半期の 2.2 %減から顕著に回復した。ただし、波及効果の大きいインバウンド観光が依然停止しており、第3四半期のサービス輸出全体は、過去最悪の伸び率(44.5 %減)から少々持ち直したものの、34.6 %減と低迷した。また、内外政治経済環境に対する不安の影響で、個人消費と総固定資本形成はそれぞれ 8.2 %減と 11.1 %減になった。世界全体のコロナ流行と米中対立などの深刻な問題は緩和されていないため、香港政府は、2020年通年の経済成長率を -6.1 %と予測している。

(孫 曉男, 戴 二彪)

## 韓国経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

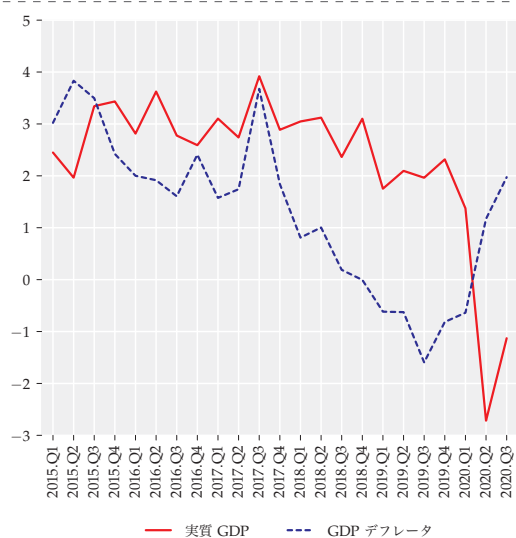


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

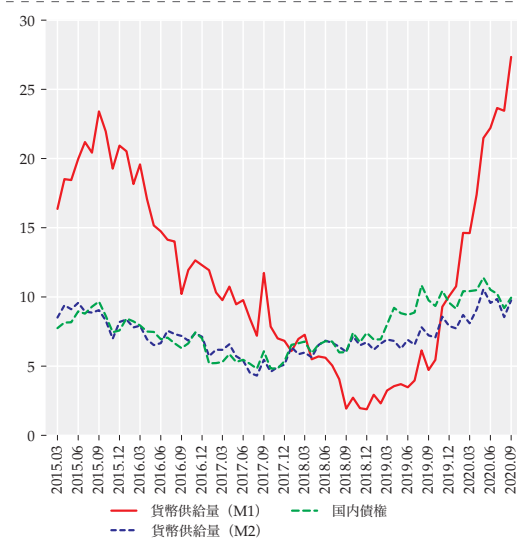


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

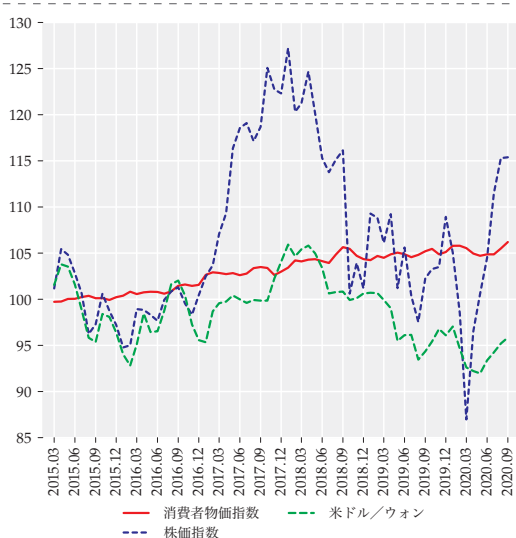
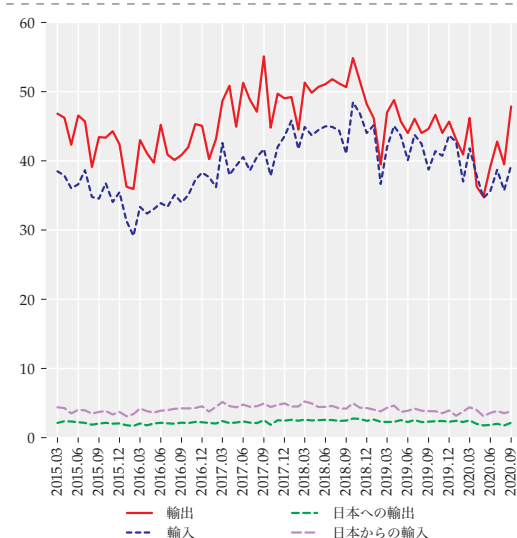


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 韓国経済の動向 (2020年第3四半期)

韓国の2020年第3四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比)は-1.13%となり、前期の-2.72%からやや回復したものの、マイナス成長が続いている。9月末の株価指数は2,327.89、1米ドル=1,178.8ウォンであった。これは、6月末と比較して、株価の回復が続き、ウォンも若干高くなっていることを示す(2,108, 1,210ウォン)。外需の回復が見込めないものの、マイナス幅は減少している。今期の米ドルベースの貿易額は、輸出が-3.40%、輸入が-8.94%で、前期は-20.32%、-15.96%であった。政策金利を段階的に過去最低の0.50%に引き下げ、金融緩和を図った結果、M1の伸びが20%を超えるようになった。新型コロナウイルスの影響による経済の「最悪期」は脱したとみられているものの、「カネ余り」による不動産価格の上昇と家計債務の拡大に対する懸念は残っている。しかも、感染が再拡大の様相で、決して安心できる状況ではない。

(坂本 博)

## 台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

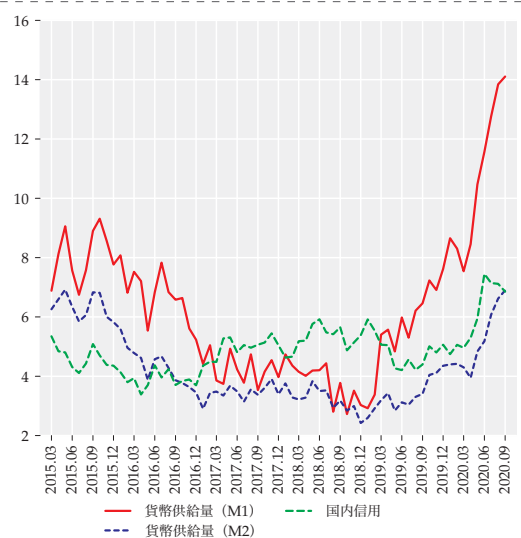


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

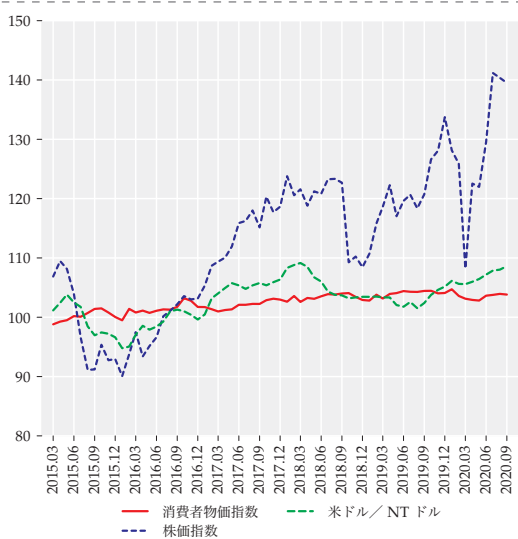
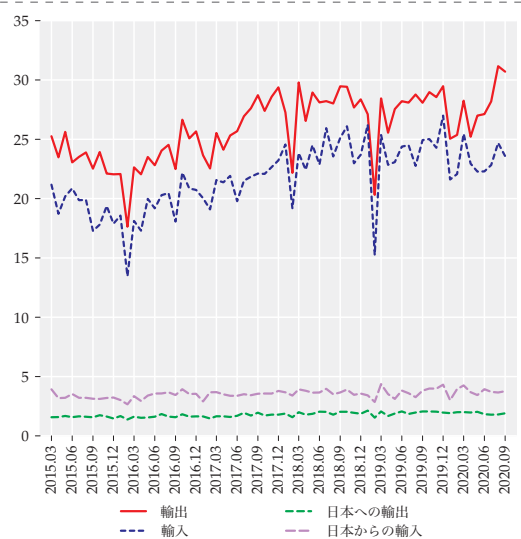


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 台湾経済の動向 (2020年第3四半期)

台湾の経済成長率は、2019年は通年で2.96%であったが、コロナ禍の影響で、2020年には第1四半期2.51%、第2四半期0.35%と落ち込んだものの、第3四半期は3.92%と持ち直した。2020年通年の成長率は2.54%と予想される(主計総處2020年11月27日付資料)。国際貿易では、2020年1~10月期の輸出額は2,803億米ドル、輸入額は2,325億米ドルで、対前年同期比の伸び率は各々、3.4%と-0.8%であった。輸出品目別では、主要な輸出品目である電子部品が20.4%(うち集積回路は22.3%)、情報通信機器が14.8%と大きく伸びた。背景には、テレワークや5G等の新たな商機が生まれたことがある。特に第3四半期は、輸出額の伸びは6.0%となり、経済成長率全体の回復に貢献した。「IMD世界デジタル競争力ランキング2020」では、台湾は世界主要63カ国中11位で(日本は27位)、細目別では、ビジネス機敏性で1位、技術フレームワークで4位であった。(岸本千佳司)

## インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

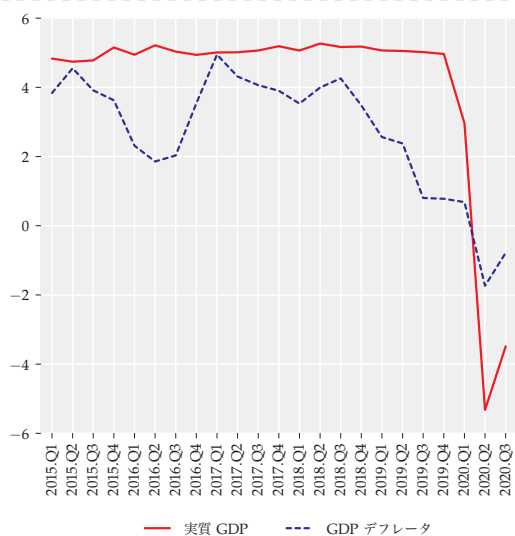


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

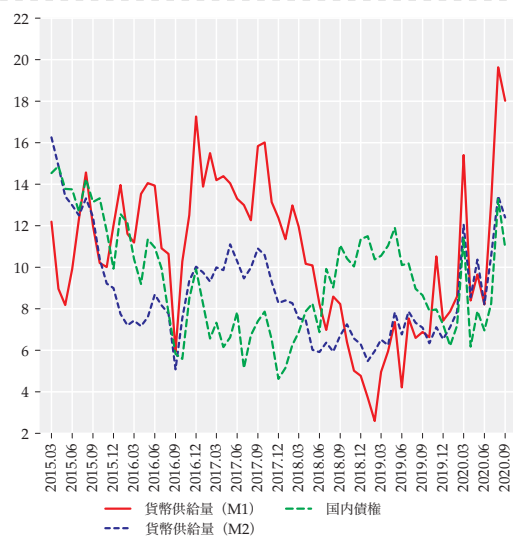


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

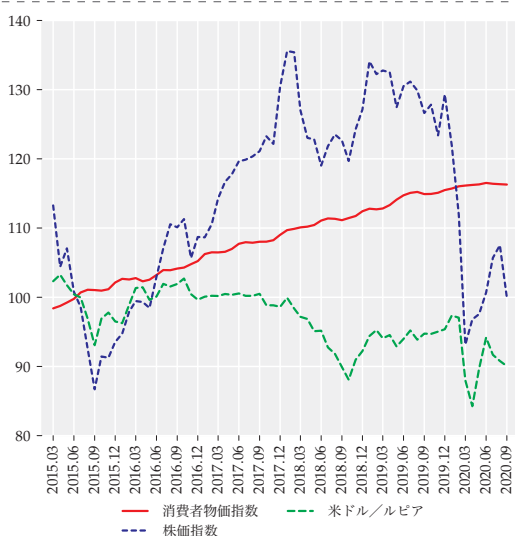
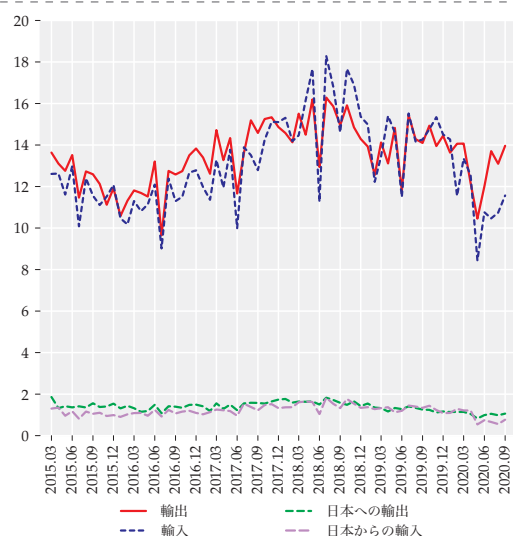


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インドネシア経済の動向 (2020年第3四半期)

インドネシアの2020年第3四半期における実質 GDP の伸び率 (前年同期比) は  $-3.49\%$  となり、前期の  $-5.32\%$  よりは回復したものの、マイナス成長が続いている。6月末に1米ドル=約14,200ルピア、4,905.39ポイントと回復傾向を見せたルピアおよび株価であったが、9月末は約14,800ルピア、4,870.04ポイントとやや下落した。また、金融緩和により (政策金利は  $3.75\%$ )、金融指標がいずれも  $10\%$  を超えるようになった。新型コロナウイルスの新規感染者の増加傾向は依然変わらず、現時点で ASEAN 内で最大の感染者数となっている。それでも、経済活動の再開に向けた取り組みが行われている。その中で、ジョコ・ウィドド政権は海外からの投資促進を目的とした制度改革を行ったが、これに反対する労働組合や学生を中心に反政府デモが活発化するようになった。こういった混沌とした状況の中では、感染拡大防止も、経済の回復も中途半端になる可能性がある。

(坂本 博)

## マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

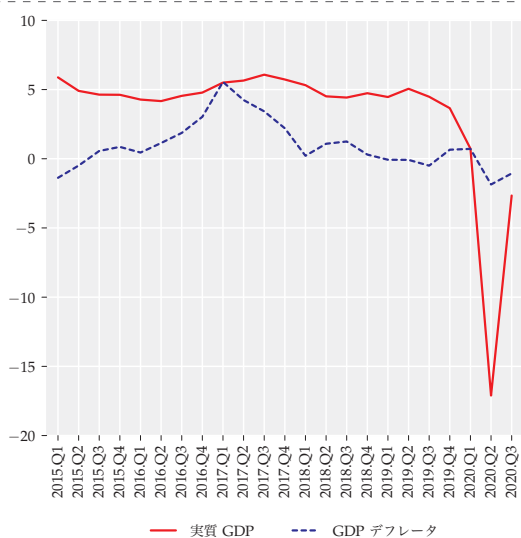


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

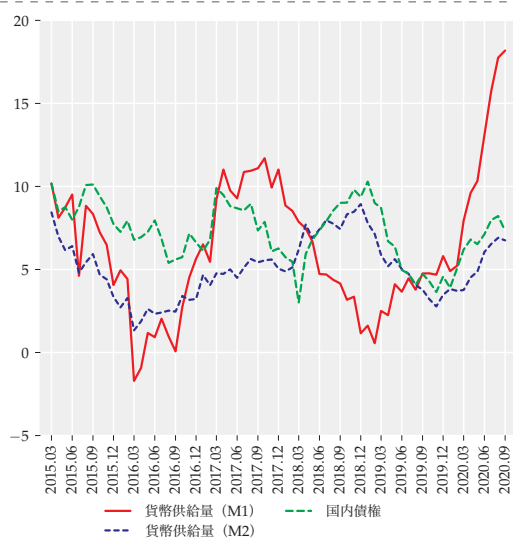


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

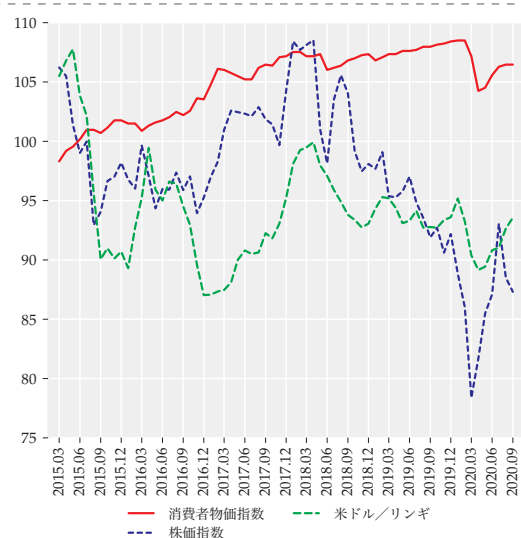
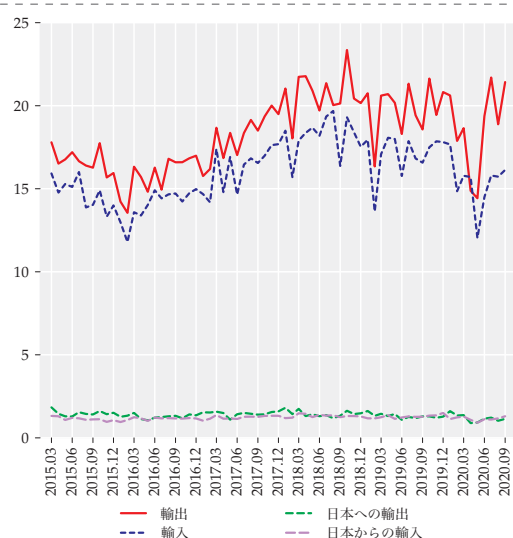


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### マレーシア経済の動向 (2020年第3四半期)

マレーシアの2020年第3四半期の実質GDPの伸び率は(前年同期比, 以下同じ), -2.66%となり, 前期の-17.11%からは大きく回復したものの, マイナス成長が続いている。需要側では, GDPの半分以上を占める民間消費が前期の-18.5%から-2.1%と回復傾向を見せ, 政府消費は前期の2.3%から6.9%とプラスの幅を広げ, 総固定資本形成の減少も前期の-28.9%から-11.6%と改善した。米ドルベースの貿易額は9月に大きな輸出の伸びが見られたため, 輸出が前期の-17.73%から4.52%とプラスに転じ, 輸入は前期の-18.52%から-7.03%とマイナスの幅を縮めた。また, 度重なる金融緩和により(政策金利は1.75%), M1が20%近くまで伸びるようになった。なお, リンギおよび株価は2018年以降, 低下傾向である。新型コロナウイルスの新規感染者が再び増加傾向にあり, 「活動制限令」を実施しているものの, かつてほど厳格なものではなく, 経済活動に舵を切っている様子である。(坂本 博)



## フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

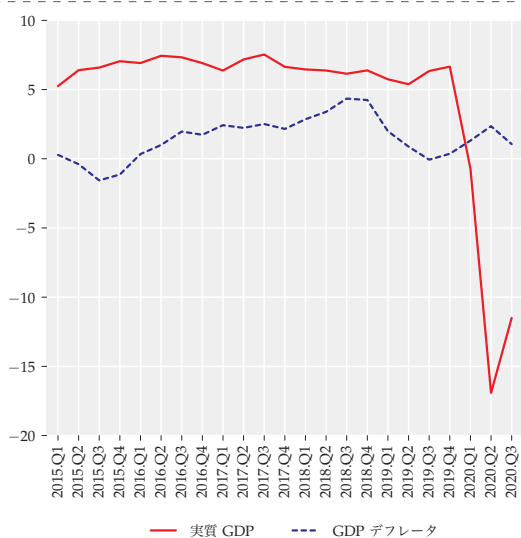


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

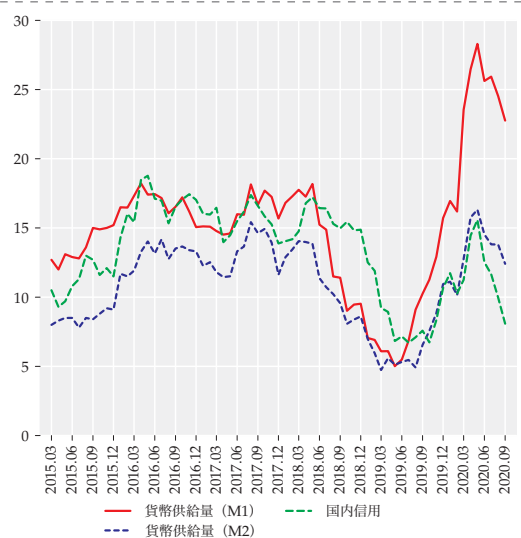


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

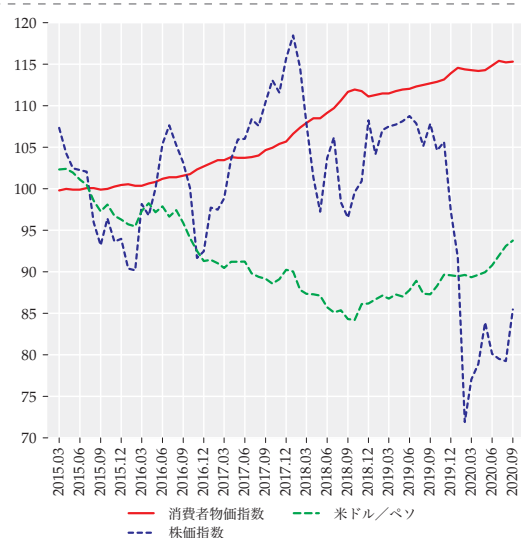


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### フィリピン経済の動向 (2020年第3四半期)

フィリピンの実質 GDP の伸び率は、2020年第2四半期の -16.9% から第3四半期の -11.5% へとやや持ち直したものの依然厳しい状況である。実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、政府最終消費支出が 5.8% (前期は 21.8%) と唯一プラス成長で景気を下支えた以外、民間最終消費支出は -9.3% (前期は -15.3%)、総固定資本形成は -37.1% (前期は -36.5%)、財・サービスの輸出は -14.7% (前期は -35.8%)、同輸入は -21.7% (前期は -37.9%) と軒並み大幅減であった。ASEAN 主要6カ国では、第3四半期の実質 GDP 成長率は、いずれも第2四半期よりも改善したもののベトナムを除き前年同期比でマイナス成長となった。中でもフィリピンのみは2桁台のマイナス成長となったが、マニラ首都圏・周辺州で広域隔離措置が再厳格化された結果と言われる。ドゥテルテ大統領は、11月30日、地域隔離措置を、2020年末まで継続すると発表した。(岸本千佳司)

## シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

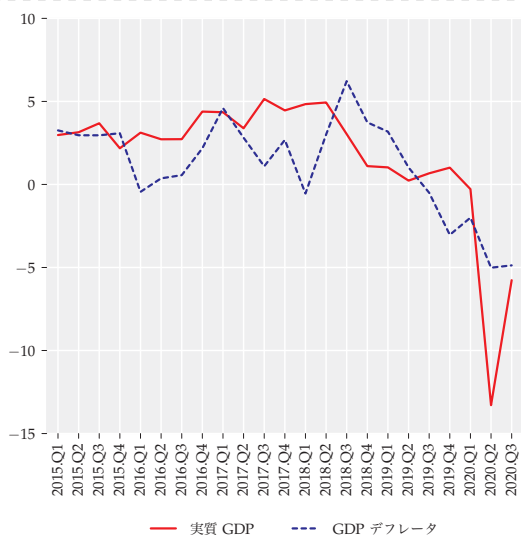


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

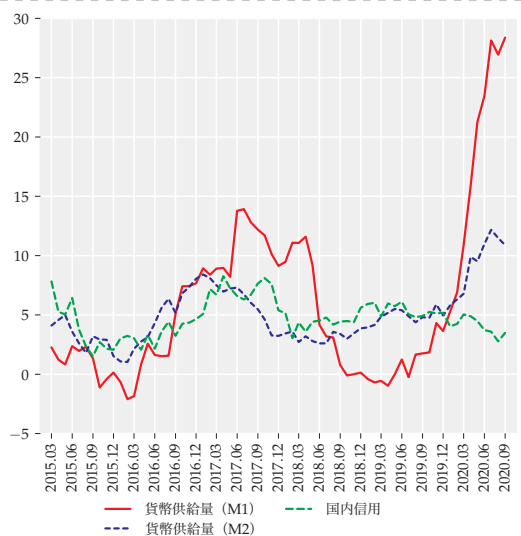


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

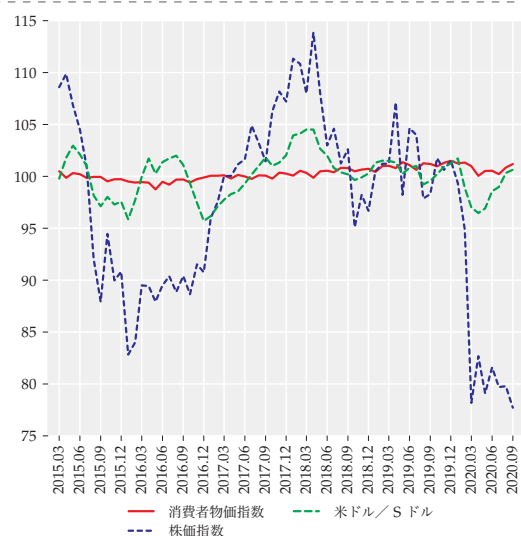
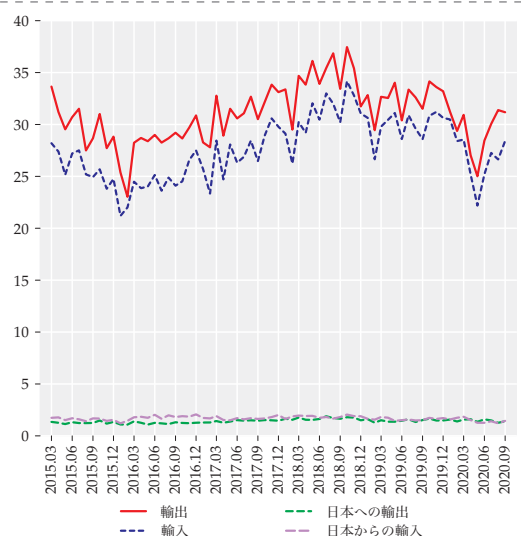


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### シンガポール経済の動向 (2020年第3四半期)

2020年第2四半期の実質 GDP の伸び率は前年同期比で -13.15 % となり、前期 (-0.25 %) から大きく減速した。これは、言うまでもなく新型コロナウイルスの影響であり、部分的なロックダウンである「サーキットブレーカー」による内需の低迷、および世界経済の減速にともなう外需の低迷が主因である。産業別にみると、GDP の 6 割以上を占めるサービス業は前期の -2.30 % から -13.38 % へと大きく下落した。特に、運輸・倉庫業 (-39.24 %)、宿泊・飲食業 (-41.40 %) の落ち込みが大きい。6月1日以降「サーキットブレーカー」は解除され、徐々に経済活動が再開されているが、今後も経済は低迷が予想される。貿易産業省 (MTI) は、世界経済の低迷による外需依存産業への影響、各国の国境再開の遅れによる観光関連産業への影響、国内における経済再開の立ち遅れなどが5月以降経済を下振れさせているとして、2020年通年の実質 GDP 成長率予測を、従前の前年比 -7.0 ~ -4.0 % から -7.0 ~ -5.0 % へとやや下方修正した。(田村一軌)

## タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

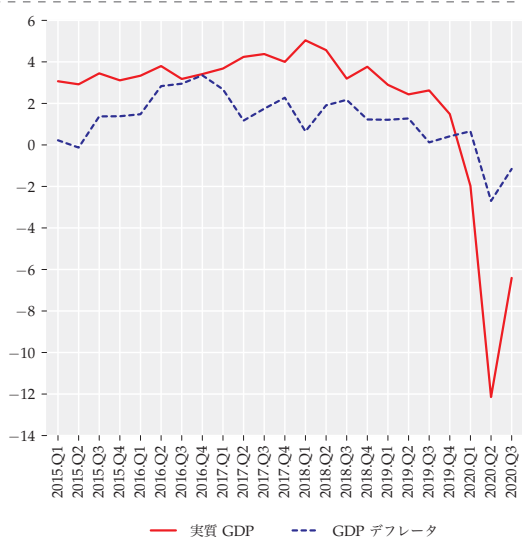


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

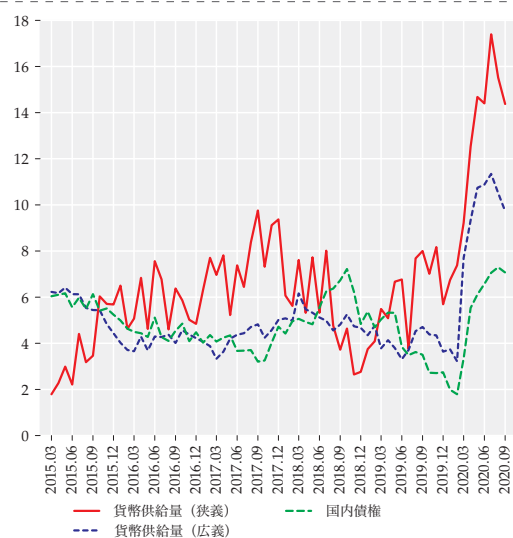
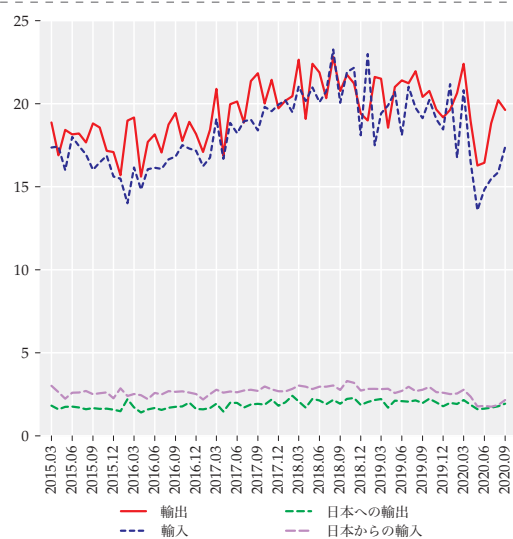


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### タイ経済の動向 (2020年第3四半期)

2020年第2四半期の実質 GDP 伸び率は前年同期比で -6.41% となり、前期の -12.15% より回復したものの、これは 2001 年以降では前期に次いで 2 番目に低い成長率である。生産側からみると、GDP の 3 割を占める工業部門が前期の -14.19% から -5.79% へと、GDP の 6 割を占めるサービス部門が前期の -12.20% から -7.25% へと、それぞれ改善している。支出側から見ると、GDP の 6 割を占める財・サービス輸出が前期の -27.80% から -23.46% へと幾分回復した。ただし、これまで GDP の 17~18% を占め経済を下支えしてきたサービス輸出は前年同期比 -73.25% と大きく減少しており、対 GDP 比率も 5% にまで縮小した。国家経済社会開発委員会は、2020 年の実質 GDP 成長率の予測値を従前の -7.8~-7.3% から -6.0% へと上方修正した。また 2021 年の実質 GDP 成長率は、国内需要の改善や世界経済・国際貿易の回復、前年の低成長からの反動などから 3.5~4.5% とプラス成長に転じると予測している。(田村一軌)

## ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

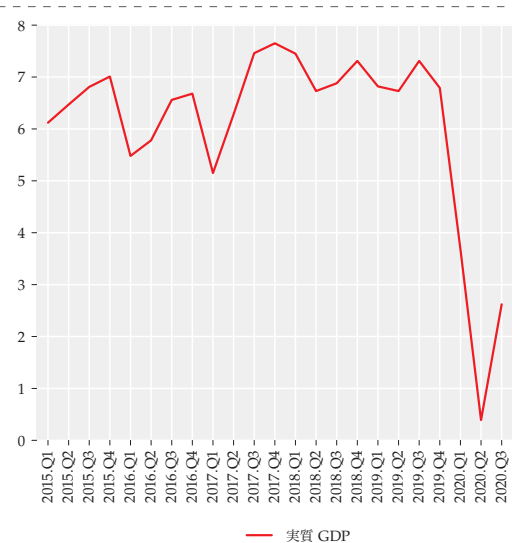


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

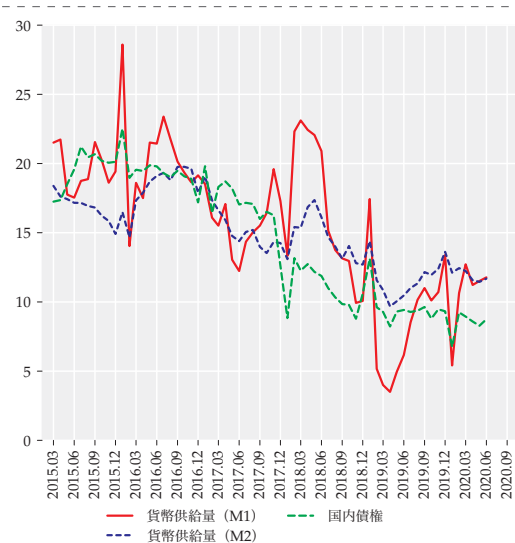


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2015年=100)

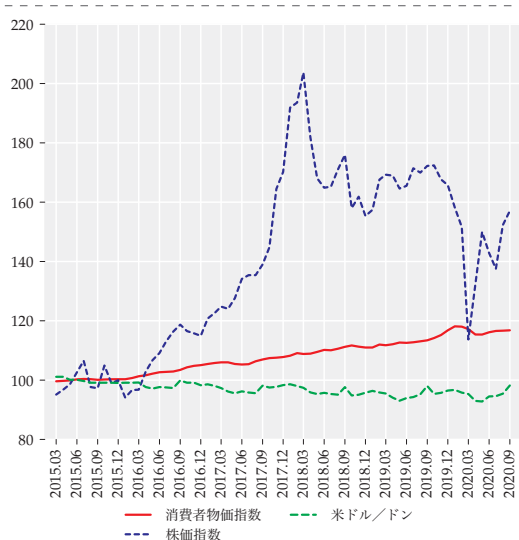
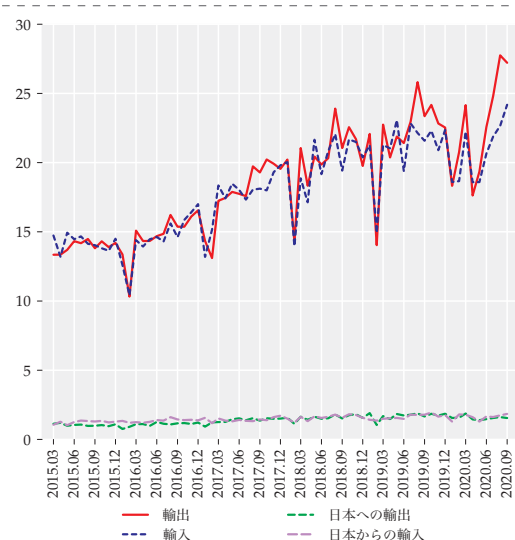


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



### ベトナム経済の動向 (2020年 第3 四半期)

2020年の第3四半期の実質 GDP 成長率は2.62%となった。ベトナムは新型コロナウイルスの影響下でプラス成長を示したアジアでも数少ない国の1つである。7月下旬におよそ100日ぶりとなる感染の流行を経験し、政府は再び社会経済活動を制限したが、それでもプラス成長は維持された。ベトナム統計総局によると、農林水産業、工業・建設業、サービス業がそれぞれ2.93%、2.95%、2.75%の伸びを示した。経済成長率が新型コロナウイルス登場前に比べて低下しているのは、需要（国内消費と国際消費の両方）の減少が引き続き主な原因となっている。また、ベトナムの農業生産は、アフリカ豚熱ウイルスや干ばつに直面している。ベトナムは世界との貿易で黒字を計上しているが、日本との貿易では赤字を抱えている。8月にはEU・ベトナム自由貿易協定(EVFTA)が発効した。しかし、新型コロナウイルスによって、EVFTAが実際の輸出入活動にインパクトを与える時期は、当初の目論みよりも後になるだろう。(ティエン・マン・ヴァ)

## インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

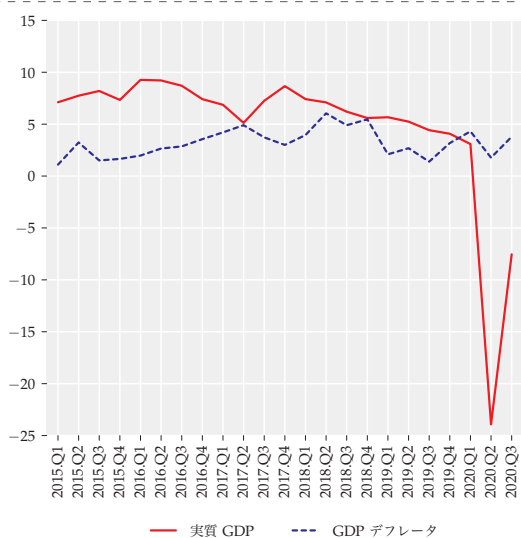


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

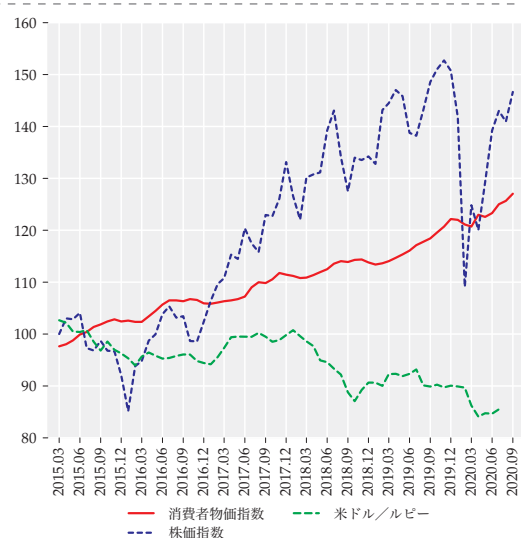
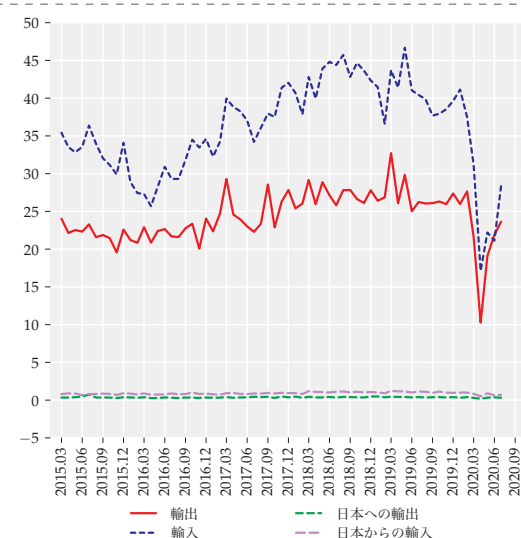


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インド経済の動向 (2020年第3四半期)

2020年第3四半期の成長率は-7.5%であり、2期連続のマイナス成長となった。この不振は、新型コロナウイルス対策としてパンデミックを封じ込めるために行われたロックダウンである「世界で最も厳格なロックダウン」の継続による。製造業は、前期には39.3%減少したが、今期は0.6%の上昇を示した。同様に、電気・ガス・水道・その他の公共サービスセクターは4.4%増加し、前期の7%の減少から改善した。農業・林業・漁業は3.4%と、前期と同じペースで成長した。他の産業の中では、貿易・ホテル・輸送・通信セクターの成長率は-15.6%であり、前期の47.0%の減少と比べ、はるかに良好だった。建設セクターの伸び率も-8.6%で、前期の50.3%の減少から改善した。政府(財務省)は、景気回復はV字型を示し、経済のファンダメンタルズは引き続き堅調であると述べている。ただし、第2四半期ほど深刻ではないものの、Covid-19感染拡大の第2波の影響など下振れリスクも高いと警告している。(プラモッド・クマール・スール)

## 図に関するデータの出所および注

### 日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

### 中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *National Data (Quarterly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=B01>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *National Data (Monthly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=A01>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

### 香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *Hong Kong Statistics* (<https://www.censtatd.gov.hk/hkstat/>)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

### 韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

### 台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/ct.asp?xItem=37408&CtNode=5347&mp=5>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://statdb.dgbas.gov.tw/pxweb/dialog/statfile1L.asp>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

### インドネシア：

- 図 1, 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/seki/terkini/moneter/Contents/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id/subject/3/inflasi.html>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia (<https://www.bi.go.id/en/moneter/informasi-kurs/referensi-jisdor/Default.aspx>)

### マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *Economic and Financial Data for Malaysia* ([https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic\\_nsd&uc=2](https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic_nsd&uc=2))
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics, various issues* ([https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=en\\_publication&en&pub=msbarc](https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=en_publication&en&pub=msbarc))
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.stats.gov.my/>)

#### フィリピン：

- 図1 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Real Sector Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/RealSectorAccounts.aspx>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/business/foreign-trade>)

#### シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

#### タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council (<https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=nationalaccount>)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatMFSSurvey.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices ([http://www.price.moc.go.th/en/home\\_en](http://www.price.moc.go.th/en/home_en))；株価指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/CapitalMarket/Pages/StatCapitalMarket.aspx>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/ExchangeRate/Pages/StatExchangeRate.aspx>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatInternationalTrade.aspx>)

#### ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *Monthly Statistical Information* ([https://www.gso.gov.vn/default\\_en.aspx?tabid=622](https://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=622))
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 2017年3月までの消費者物価指数および為替レート：International Monetary Fund, *International Financial Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降の消費者物価指数と為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Monthly Statistical Information* ([https://www.gso.gov.vn/default\\_en.aspx?tabid=622](https://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=622)) より推計；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 2017年3月まで：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降：Vietnam, General Statistics Office, Thematic Data, *Import-export turnover* ([https://www.gso.gov.vn/default\\_en.aspx?tabid=626](https://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=626))

#### インド：

- 図1, 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2020年第3四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<http://www.mospi.gov.in>)
- 図3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<https://data.imf.org/dot>)